

全学教養科目「名大の歴史をたどる」

## 第12回 「草創期の名古屋大学と初代総長渋沢元治」

### 【今回のテーマ】

- ◆初代総長の渋沢元治とはどのような人物だったのか。
- ◆草創期の名大はどのような様子だったのか。
- ◆当時の新聞に名大はどのように描かれ、そこからどのような時代背景が読み取れるか。

### 1 総長就任までの渋沢元治

#### ① 生い立ち

- 1) 天領の豪農渋沢家
- 2) 伯父・渋沢栄一

#### ② エリートコースを進む

- 1) 埼玉から東京へ
- 2) 第一高等学校
- 3) 東京帝国大学工科大学

#### ③ 社会での見聞

- 1) 一年志願兵
- 2) 海外遊学

#### ④ 官僚から大学人へ

- 1) 技術官僚としての活動
- 2) 東京帝国大学教授

## 2 地方新聞『新愛知』にみる草創期の名大

- ①『新愛知』
- ②名（帝）大創設まで
- ③草創期の名大と渋沢元治総長
- ④名大の研究と国家・社会

## 3 戦後の渋沢元治

- ①敗戦直後の渋沢総長と名大
  - 1) 名大復興への奔走
  - 2) 総長辞任
- ②その後の渋沢
  - 1) 電気科学普及のための執筆活動
  - 2) 文化功労賞と澁澤賞
  - 3) 渋沢元治記念館と同館資料の大学文書資料室への移管

### 【主な参考文献】

- 神谷智『草創期の名古屋大学と初代総長渋沢元治』（名大史ブックレット 6）  
名古屋大学史編集委員会編『名古屋大学五十年史』通史一・二（名古屋大学、1995）  
永塚利一『渋沢元治』（電気情報社、1969）  
渋沢元治『五十年の回顧』（渋沢先生著書出版事業会、1953）  
木方十根「創設期の東山キャンパス計画」（『名古屋大学史紀要』6、1998）  
木方十根「再考・創設期の東山キャンパス計画」（『名古屋大学史紀要』12、2004）  
竹内洋『日本の近代 12 学歴貴族の栄光と挫折』（中央公論新社、1999）  
水谷三公『日本の近代 13 官僚の風貌』（中央公論新社、1999）  
大淀昇一『技術官僚の政治参画 日本の科学技術行政の幕開き』（中公新書、1997）  
『新愛知』、『名古屋新聞』（愛知県図書館所蔵マイクロフィルム）  
「愛知県会議録」（愛知県議会図書室所蔵）